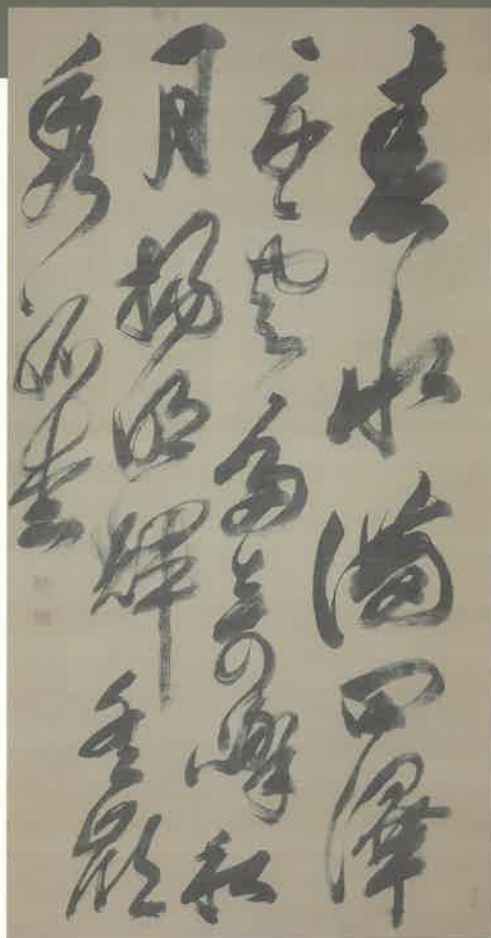


2023年
藤田記念博物館秋の企画展



松平定信筆「春水満四澤」文政10年(1827)



谷文晁筆「秋晩山水図」部分 寛政年間

松平
定信と文晁、そして羅漢
谷
蒲生

絵画と墨蹟

2023年
9月30日(土)～11月5日(日)

記念講演会 2023年10月14日(土) 17時～

演題 “定信と文晁、そして白河”

講師：佐川 庄司(当館学芸員)

※講座の参加希望者は右記QRもしくはFAXで事前申し込みをお願いいたします。
参加費は無料ですが、入館料は必要となります。定員になり次第受付終了。



展示解説会 2023年10月7日(土) 13時30分～

休館日 毎週月曜日 開館時間 10時～16時

入館料 一般 500円、高校生 300円
(中学生以下は無料)

定信と文晁、そして羅漢

江戸幕府老中として寛政の改革を行った白河藩主松平定信は、老中退任後に古文化財図録集『集古十種』や画像学の先駆けとなる『古画類聚』の編纂事業を行っています。また、庭園や風景(真景図)の記録なども行っていますが、これらの文化事業は谷文晁をはじめとする画人たちの活躍によって支えられていました。

企画展では博物館所蔵品により、松平定信の和歌・漢詩文などの墨蹟作品とともに、定信に生涯にわたって仕えた谷文晁の絵画作品を展示します。また、文晁の高弟であった白河の画人である蒲生羅漢の絵画作品も併せて展観し、定信と画人の交友に想いを馳せようとする企画展です。この機会にぜひご鑑賞くださるようご案内申し上げます。



松平定信筆和歌「庭の松を詠める」
文化13年(1816)



谷文晁筆「神農図」松平定信賛
寛政11年(1799)



酒井抱一筆「菊花図」
松平定信賛



谷文晁筆「秋晩山水図」
菅茶山賛 寛政年間



谷文晁筆「芙蓉飛燕図」
文政4年(1821)



谷文晁筆「駱駝図」
文政7年(1824)



蒲生羅漢筆「琴棋書画図屏風」 天保14年(1843) [右隻]



同 [左隻]

当博物館の展示作品はガラス越しではなく
直に鑑賞することができます。

伝統的な和室空間での展示は、
タイムスリップしたかのような感覚です。



撮影OK



写真撮影も自由に行うことができます。

